

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【4班】

地区コミ	轟地区コミュニティ協議会	参加人員	35人
開催日時	平成25年 5月24日（金） 19:00 ～ 20:40		
開催場所	轟地区コミュニティセンター		
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当
	上野 一誠	○	
	宮里 兼実	-	
	新原 春二	○	司会進行
	議員名	出欠	担当
	小田原 勇次郎	○	議会活動報告
	成川 幸太郎	○	記録・報告書作成

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1 過疎化防止対策について

《意見交換の概要》

- ◆ ゴールド集落定住促進補助金は、ゴールド集落になってからではなく、ゴールド集落になる前の防止対策補助制度にはならないか？
- ◇ 補助制度を推進する中では、どこかで区分するための基準は必要である。現在、コミュニティ課で見直しを進めている。定住対策についても見直しが必要である。
- ◆ 空き家を貸家として活用するための改修費用の補助金を検討してほしい。
- ◇ 現在は、空き家のままでの改修に対する補助はないが、空き家に入居予定者が確定すれば、既存住宅改修環境整備事業の補助を受けることが出来る。活用してもらいたい。
- ◆ 他地区における過疎化対策、地域活性化対策の優良事業例があれば教えていただきたい。
- ◇ 全国的に有名なところでは、鹿屋の柳谷集落（ヤネダン）における交流人口の拡大を目指す、行政に頼らない地域づくりの例もあるが、近くでは入来町の大馬越地区における、6次産業化を取り込んだ地域の活性化を行っているところがある。

《主な要望等》

- ◆ 自治会単位の高齢化率を公表してもらいたい。
- ◆ 管理者不在の空き家対策を検討してもらいたい。

2 市内横断シャトルバスの有効活用について

《意見交換の概要》

- ◆ 通院でシャトルバスを使用する高齢者に対して、病院での診察の順番について優遇対応をしてもらえないか。
- ◇ 初めての要望であり検討をしたが、各病院における優遇措置は、どの地区をその対象とするか等現実的にはかなり難しい状況である。今後医師会などとの協議が必要。
- ◆ 高齢者のシャトルバスの有効活用を促進するため、バス停の増設もしくは自宅付近でのバスの乗降は出来ないか。
- ◇ 自由乗降については、現在、土川・寄田・滄浪地区での許可は出ているが、轟地区の道路は幹線道路であり、交通量も多く、陸運局の許可が出る可能性は非常に低いといえる。シャトルバスのバス停については、現在ある3ヶ所のうち使われていない2ヶ所を活用できないかを、市当局・バス会社と検討する余地はあると思う。

- ◆ 高齢者の運転免許返還者に対し、バスを利用した場合の優遇措置をしてほしい。
- ◇ 運転免許証の自主返納者に対しては、平成22年からバス料金の半額を補助する制度が実施されている。無料化については要望として受け止める。

3 六次産業への取り組みについて

《意見交換の概要》

- ◆ 六次産業対策監が新設されたが、今後の六次産業の取り組みについて説明してほしい。
- ◇ 市における一次産業への取り組みを更に強化し、六次産業への取り組みを促進し、一次産業の活性化をより推進するために設置された。今6月議会に六次産業を支援する為の条例が上程され、一次産業の六次産業化の促進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための六次産業化ビジョンを策定し、平成26年4月からの支援を目指すこととしている。
六次産業化の推進により、地区コミ活動の枠を越え産業化し、地域の雇用を創造し活性化を促進していただきたい。

4 その他

《要望等》

- ◆ 竹下製材所から下へつながる道路の全面補修をしてもらいたい。
最近大型トラック等の通行も多く、橋の両端に段差が生じ、道路にも多くの窪みができ、騒音や振動で睡眠が妨げられるなど住民生活に大きな影響が出ている。
- ◇ 自治会から、コミ協→支所へ上げ、支所での対応が出来ない場合は本庁での対応に繋がるように要望を文書でしていただきたい。